

西穂高岳遭難(2013年2月)

29歳男性が西穂高岳に登山。下山中に「道を間違えた。」と連絡があったのを最後に連絡がつかなくなった。翌日3時ごろ遭難者本人から連絡があり救助された。



解説

西穂高岳に登頂後、下山中の15時20分ごろ「道を間違えた。修正しながら戻る」と連絡があったのを最後に、連絡がつかなくなった。25日3時ごろ遭難者本人から警察に連絡があり、同10時10分ごろ、小鍋谷の標高1,850m付近で救助された。

発見された場所は、かなり標高も低く、冷静さを失い沢を下ってしまったようだ。恐らく、西斜面の小尾根を誤って下ってしまったが正しい道と思い込み、引き返すことができなくなったと思われる。

風雪の悪天候では、正しいルートを一歩外れると戻るのは難しいのだ。また、積雪期では道迷いから急斜面に足を踏み入れ滑落する事故も少なくない。

助かったのは幸運だったと思う。